

認知症施策の実施状況（条例の 4 つの柱に基づく分類）

（１）予防及び早期介入

○認知症診断助成制度

※内容・実績については資料 3 を参照

※認知率

目標（2025 年度）	実績（2025 年度）
45.0%	53.3%

高齢者一般調査より

○認知症ケアパス

認知症の症状に応じ、いつ、どこで、どのような医療・介護等のサービスを利用できるかについて、地域資源を整理してまとめたものを本人・家族等に配布。

（２）事故の救済及び予防

○認知症と診断された人が関わる事故に関する救済制度

※内容・実績については資料 3 を参照

※認知率

目標（2025 年度）	実績（2025 年度）
40.0%	28.9%

高齢者一般調査より

○診断助成制度の認知機能検診（第 1 段階）の受診者に、「運転免許証自主返納」のパンフレットを配布。

（３）治療及び介護の提供

○あんしんすこやかセンターの認知症相談対応の充実

令和 7 年度 あんしんすこやかセンターでの認知症に関する相談件数：21,677 件

○認知症初期集中支援チーム

※内容・実績については資料 7 を参照

○認知症疾患医療センター

※内容・実績については資料 7 を参照

○KOBE みまもりヘルパー

認知症または軽度認知障害（MCI）と診断された方を対象に、ご自宅に訪問し、見守りや話し相手、外出の付き添い等（介護保険外サービス）を実施。

※2025 年度末時点 利用登録者数：71 名

○認知症サポート医の養成

かかりつけ医への助言、専門医療機関やあんしんすこやかセンター等への連携の推進役となる認知症サポート医を養成。

※養成者数

目標（2026 年度末）	実績（2025 年度末）
276 人	270 人
	※2026 年度末には達成見込み

○かかりつけ医認知症対応力向上研修

認知症の初期症状に早期に気づき、必要に応じて適切な医療機関につなぐため、身近なかかりつけ医を対象に、認知症の診断・治療や地域との連携等について研修を実施。

※2025 年度末 受講者累計 879 名

○病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修

病院勤務以外（診療所、訪問看護ステーション、介護事業所、入所施設等）の看護師、リハビリ職種等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるための必要な基本知識や認知症ケアの原則及び医療と介護の連携の重要性等の知識が学べる研修を実施。

※2025 年度末 受講者累計 280 名

○認知症介護研修

認知症介護に関する職場において、認知症高齢者のおかれている立場に配慮した、質の高い介護と援助が行われ、認知症高齢者が尊厳を持って生活を送ることができるよう専門職に研修を実施。

※修了者数

	目標（2026 年度末）	実績（2025 年度末）
認知症介護指導者	53 人	53 人 ※達成済
認知症介護実践者研修	5,710 人	5,217 人
認知症介護実践リーダー研修	908 人	857 人

（４）地域の力を豊かにしていくこと

○フレイル改善通所サービス

フレイル対策の３つの柱である「栄養（食・口腔機能）」「運動」「社会参加」をバランスよく取り入れたプログラムを提供し、サービス利用中から社会参加や健康づくり活動を継続できるように支援を実施。

※令和８年８月時点：34 か所

○認知症サポーターの養成

地域全体で認知症の人を見守るため、国が規定する研修を実施し、修了者には認知症の人の理解者の証であるオレンジリングを配布。

※認知症サポーター養成者数（累計）

目標（2026 年度末）	実績（2025 年度末）
155,672 人	152,686 人 ※2026 年度末には達成見込み

○認知症カフェ登録事業の推進

認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが自由に参加し、気軽に交互交流や相談等ができる地域に開かれた集いの場を登録・紹介

※認知症カフェ箇所数

目標（2026年度末）	実績（2025年度末）
45箇所	54箇所 ※達成済

○認知症地域支えあい推進事業

地域における認知症についての理解を深める学習会の開催や、認知症予防の取組みを支援するため、地域に専門職を講師として派遣。

※2022年10月より講師派遣開始

※（目標）認知症地域支えあい推進事業実施回数：200回

	実績
2023年度	205回
2024年度	124回
2025年度	144回

○GPS安心かけつけサービス

認知症の方が行方不明になることを未然に防ぐため、GPS（衛星利用測位システム）端末を貸し出し。

※契約数等は資料3を参照

○みまもりシール

衣服等に貼り付け、行方不明時の迅速な身元確認・保護につなげる「みまもりシール」を配布。

※配布数等は資料3を参照

○地域包括支援センター単位での声かけ訓練の拡充

認知症の人の地域での見守り体制を構築するため、あんしんすこやかセンター単位（市内 76 センター）での声かけ訓練を実施する。

※（目標）声かけ訓練実施個所数：3 か年で全あんしんすこやかセンター

	実績	新規実施
2024 年度	38 センター	38 センター
2025 年度	46 センター	15 センター

2026 年度末には目標達成見込み

○若年性認知症の方への支援充実、社会参加促進

県若年性認知症支援コーディネーター等との連携による支援、若年性認知症支援研修と若年性認知症支援デイサービス・デイケア研修、産業医向け研修の実施。

○高齢者安心登録事業の推進

行方不明などの心配がある在宅高齢者が事前登録を行い、あんしんすこやかセンターや警察等と情報を共有するとともに、行方不明時には電子メールで行方不明発生情報を配信し、警察への情報提供を呼びかけ、早期発見と保護を目指す。

※2025 年度末時点 登録高齢者：2,025 名、捜索協力者の登録状況：1,047 名

○成年後見等の権利擁護

成年後見制度の利用が必要な方で、身寄りの無い方等について、市長申立を行っている。また、成年後見支援センターの運営を市社会福祉協議会へ委託し、成年後見制度に関する相談や利用支援等を行っている。さらに、市社会福祉協議会内の、安心サポートセンターでは、権利擁護相談や、介護保険など様々な福祉サービスの利用手続きのお手伝い、日常的な金銭管理等を行う「日常生活自立支援事業」を行っている。

令和 7 年度

- ・神戸市長申立件数：56 件
- ・成年後見制度に係る電話・来所等相談件数：1,576 件
専門相談件数：122 件
- ・日常生活自立支援事業利用者数：684 件

○その他普及啓発（主なもの）

《令和7年度》

- ・「広報紙K O B E」令和7年7月号のシルバー情報ひろばに、GPS 貸し出しサービス、みまもりシールの導入についての記事を掲載
- ・「広報紙K O B E」令和7年10月号挟み込みの高齢者向け紙面への掲載
- ・77歳以上全員に認知機能検診の受診券を送付
- ・世界アルツハイマーデー（9月21日）に関する普及啓発
 - ※記念講演会を「認知症の人と家族の会 兵庫県支部」と共催実施（9月20日）
 - ※明石海峡大橋、ハーバーランド（モザイク）の観覧車等をライトアップ
 - ※市内図書館に認知症に関する資料及び展示、配布
- ・さんちか花時計ギャラリーで神戸モデルのポスター、パネルの展示（9月18日～24日）
- ・デジタルサイネージ（ミント神戸、三宮センター街、市営地下鉄・阪急・JR、神戸電鉄、各区役所・支所等）（9月1日～9月30日）
- ・駅構内でのポスター掲示（JR、神戸電鉄）（9月1日～9月30日）
- ・SNS（Instagram／Facebook 等）を活用した広報（9月1日～9月30日）
- ・市内スマホ教室、携帯ショップでのチラシ案内（9月1日～9月30日）
- ・自治会掲示板でのみまもりシールポスター掲示（12月1日～1月31日）
- ・デジタルサイネージ（市営地下鉄・阪急・JR、神戸電鉄、各区役所・支所等）（2月23日～3月8日）
- ・駅構内でのポスター掲示（神戸電鉄）（2月23日～3月8日）